



2016年12月9日

各位

会社名 味の素株式会社
代表者名 代表取締役社長 西井 孝明
(コード：2802、東証第1部)
問合せ先 アミノサイエンス統括部長 馬渡 一徳
(TEL. 03-5250-8136)

株式会社ジーンデザインの株式取得（子会社化）に関するお知らせ

当社及び当社の連結子会社である味の素オムニケム社（社長：ピーター・スタイク 本社：ベルギー王国ウェッテレン、以下「オムニケム社」）は、本日、国内有数の核酸医薬品の開発・製造受託会社（以下「CDMO」）である株式会社ジーンデザイン（社長：湯山和彦 本社：大阪府茨木市 以下「ジーンデザイン社」）の発行済みの全株式を取得することについて合意し、株式売買契約を締結しましたのでお知らせいたします。本株式取得により、当社グループのオリゴ核酸製造技術、医薬品の製造機能・ノウハウ及びジーンデザイン社の持つ経営資源との相乗効果で、成長著しい核酸医薬品のCDMO分野での事業拡大を加速させます。

1. 株式の取得の理由

核酸医薬品は、これまで治療が困難だった疾患への適用にも開発が進められていることから、国内外において大きな市場成長が期待されています。当社は、本市場のニーズに応えるべく、これまで培ってきた合成技術を応用し、「液相合成法」（オリゴ核酸の一般的な合成法「固相合成法」に比べて大量生産に適している）をベースとしたオリゴ核酸の製造法を開発し、CDMO事業（「AJIPHASE®」）を推進してきました。

ジーンデザイン社は、2000年に創業し、現在、受託開発・製造事業を手掛ける、国内有数のオリゴ核酸のCDMOです。同社は核酸医薬品の製造に必要とされている固相合成法に関連する高度な技術や、厳格な品質管理・ノウハウを有していることから、国内の製薬メーカーや研究機関など幅広い顧客から高い評価を得ています。今回の買収により、当社独自の大量生産に優れた液相合成法及びオムニケム社の持つ医薬品の製造機能やノウハウに、ジーンデザイン社が持つ少量多品種の生産に優れた固相合成法、経験豊かな人財、cGMP（医薬品等の製造管理及び品質管理の基準）に準拠した製造機能を組み合わせることで、開発初期（固相合成による少量多品種の供給）から後期・上市后（液相合成による大量供給）に至るまでのオリゴ核酸の受託開発・製造事業が可能な体制を構築します。また安定的かつ高収益なCDMO事業を構築し、バイオ先端医療分野における事業を強化・推進することで人類の健康な生活に貢献します。

2. 異動する子会社（株式会社ジーンデザイン）の概要

(1) 名 称	株式会社ジーンデザイン
(2) 所 在 地	大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目7番29号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 湯山 和彦
(4) 事 業 内 容	オリゴ核酸・核酸医薬材料・核酸関連化合物の受託開発・製造事業、その他合成装置等の販売等
(5) 資 本 金	5,000万円
(6) 設 立 年 月 日	2000年12月
(7) 大株主及び持株比率	湯山 和彦 38.8%、個人株主等 61.2%

(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	一部製造を委託しておりましたが、大きな取引関係はありません。
(9) 当該会社の売上高	706百万円(2015年度)	

3. 株式取得の主な相手先の概要

(1) 氏名	湯山 和彦
(2) 住所	大阪府吹田市
(3) 上場会社と当該個人の関係	資本関係、人的関係、取引関係とも該当事項はありません。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有割合	—%
(2) 取得株式数	普通株式 72,845株 新株予約権 1,000個(付与株式数:普通株式1,000株)
(3) 取得価額	相手先との取り決めにより非開示とさせていただきます。
(4) 異動後の所有割合	100%(味の素株式会社 95%、味の素オムニケム社 5%)

5. 日程

(1) 経営会議決議日	2016年12月9日
(2) 契約締結日	2016年12月9日
(3) 株式譲渡実行日	2016年12月下旬(予定)

6. 今後の見通し

当社の当期の連結業績に与える影響は軽微です。

以上